

7718 NO 0001

整理番号:塩カル防錆剤 1008181

作成日2010年10月8日  
改訂日2020年6月1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製品名】 塩カル防錆剤  
【会社名】 株式会社シフト  
【住所】 大阪府堺市中区深井北町770-1  
【連絡先】 TEL 072-270-2001 FAX 072-270-2002

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性  
引火性液体 区分4  
人健康有害性  
皮膚腐食性/刺激性 区分3  
吸引性呼吸器有害性 区分1

GHSラベル要素  
絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
可燃性液体  
軽度の皮膚刺激  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き  
「安全対策」

熱、火花、裸火、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
取り扱い後は手をよく洗うこと。

「応急措置」

火災の場合:消火するために粉末消火器、泡消火器、滅酸ガスを使用すること。  
皮膚(又は髪)に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当を受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ再使用する場合には洗濯をすること。  
飲み込んだ場合:無理に吐かせないこと。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。

「保管」

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

「廃棄」

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を  
委託する(不明な場合は購入先に相談の上処理すること。)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学名又は一般名:	防錆剤	
成分及び含有量	①基油:合成炭化水素(イソパラフィン)	80.0 ~ 82.0 %
	②フルオロアルキルカルボン酸	0.7 ~ 1.0 %
	③イソステアリン酸	17.0 ~ 19.3 %

整理番号：塩カル防蝕剤 1009131

化学特性(化学式)	① $C_4H_9(C_4H_8)_nO_4H_9$ ② $n-C_8F_{13}CO_2H$ ③ $C_{17}H_{35}COOH$
官報公示整理番号	化審法№ ① (2)-10 ② (2)-1182 ③ (2)-608
CAS No.	CASNo. ① 68551-20-2 ② 433-44-3 ③ 30399-84-9
危険有害成分	
労働安全衛生法 別表第九条 名称等を破折し、又は通知すべき 危険物及び有害物	非該当
化学物質管理促進法	非該当
毒物劇物取締法	非該当

4. 応急処置

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。身体を毛布などで被い、保温して安静を保つ。必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚(又は髪)に付着した場合:	汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水と石鹸で洗う。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外せる場合は外す。その後も洗浄を続け異常感が残る場合は眼科医の診察を受ける。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける。無理に吐かせるとかえって肺への吸引等の危険が増す。
飲み込んだ場合:	口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗浄する。
予想される急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	飲み込むと、下痢、嘔吐する可能性がある。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤:	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガスが有効である。
使ってはならない消火剤:	棒状放水
特有の危険有害性:	燃え易い。加熱で発火する。火災で有害性ガスの発生が恐れられる。
特有の消火方法:	漏出物または流出物が引火していない場合、薄状の水を使用して蒸気を消散させ、漏出を止めようとしている人を保護する。 火元への燃焼源を断つ。 周囲の設備等に散水して冷却する。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護:	消火作業は風上から行い、耐熱保護服を着用する。熱焼又は高温により、有害ガスが生成する可能性があるため呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急措置:	除去作業の際には必ず適切な保護具を着用する。 漏出した場所の周囲にロープなどを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項:	河川、下水道等に流入しないように注意する。
回収・中和、並びに封じ込め 及び浄化の方法・器材:	速やかに全ての着火源を取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。 砂等の燃えない吸収剤で漏洩物を吸収して廃棄容器に入れる。
二次災害の防止策:	漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。 全ての着火源を速やかに取り除く。排水溝、下水溝、地下管等への流入を防ぐ。

整理番号：塩カル防錆剤 1009131

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い技術的対策：	指定数量以上の量を取扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。熱、火花、裸火、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を錯散させない。静電気対策をおこない、作業着、靴等も導電性のものを使用する。
局所排気・全体換気 安全取り扱い注意事項：	毒性/刺激性のある蒸気/霧気が加熱により発生することがある。 室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。換気装置を設置し、局所排気、全体換気を行う。使用前に使用説明書を入力すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ミスト、蒸気を吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する所で飲食又は喫煙をしないこと。飲み込まないこと。
接触回避 保管・技術的対策：	炎、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。容器は直射日光や火気を避けること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 消防法の規制に従う。
混触危険物質 容器包装材料：	ハロゲン類、強酸類、強アルカリ類、酸化性物質との接触、保管を避ける。 金属容器が望ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	未設定
許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)： 日本産業衛生学会(2007年版)	未設定
設備対策：	消防法の規制に従う。 この物質を取り扱う作業場には洗眼器、安全シャワーを設置すること。 作業場には換気設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具：	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具：	耐油性保護手袋 (ニトリルゴム樹脂化学薬品性手袋を使用することが推奨される。)
眼の保護具：	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚・身体の保護具：	ビニール製保護衣、ゴム製保護長靴
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する場所で飲食、喫煙をしないこと。 汚染物質を取り除くために定期的に作業着と保護具を洗濯する。洗濯できない汚染された衣類及び靴などは廃棄する。適宜な備品管理を実施する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	黄色透明液体
外観：	特有臭
臭い：	ブーヤなし
pH：	135°C以上
初留点：	74°C
引火点：	200°C以上
自然発火温度：	ブーヤなし
燃焼性(固体、ガス)：	0.77~0.85
比重(密度)：	ブーヤなし
分解温度：	不溶解
溶解性(水)：	

登録番号：塩カル防銹剤 1009181

#### 10. 安定性及び反応性

安定性：	室温・常圧においては安定である。
危険有害反応可能性：	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件：	直射日光、加熱、スパーク、はたか火、およびその他の発火源は避ける。 混触危険物質との接触。
混触危険物質：	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。
危険有害な分解生成物：	燃焼の際は煙、一酸化炭素等が発生する。

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口)：	データなし
急性毒性(経皮)：	LD50 >5,000mg/kg(若魚)
急性毒性(吸入)：	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	軽度の刺激性あり
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)：	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)：	データなし
吸引性呼吸器有害性：	炭化水素であって、かつ黏着度率が40℃で20.5mm <sup>2</sup> /s以下であり人の摂取により肺への吸引を惹起し、その結果油性肺炎または化学肺炎をもたらすとの報告がある。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性：	水陸環境急性有害性	データなし
	水陸環境慢性有害性	データなし
残留性/分解性：		データなし
生体蓄積性：		データなし
土壌中の移動性：		データなし
オゾン層への有害性：		データなし

#### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	外部委託する場合は、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。廃棄する場合は焼却設備等で少量ずつ焼却処分を行う。焼却時、煙、一酸化炭素ガスが発生するので排ガス対策を行う。処分作業は取り扱い及び保管上の注意事項に留意して行う。
汚染容器及び包装：	使用済みの包装容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。空容器に圧力を加えると破裂することがある。空容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断を行うと、残留物が発火することがある。

#### 14. 輸送上の注意

国際規制：	
国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当

整理番号：塩カル防錆剤 1D09131

国内規制:

陸上	消防法 危険物第4類第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ 労働安全衛生法 非該当
海上	非該当
航空	非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 第1類及び第6類の危険物との混載を禁止する。

15. 適用法令

消防法	危険物第4類第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法(通知対象物質)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質管理促進法	非該当
水質汚濁防止法	油分排出規制(5mg/L 許容濃度) n-ヘキサン抽出分として検出される。
海洋汚染防止法	油分排出規制(原則禁止)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則

16. その他の情報

資料資料

1. 許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会(2007)
2. JIS Z 7253:2012 (GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS))

製品安全データシートは危険有害な化学品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。  
取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実施に応じた適切な処置を講じることが必要である事を理解した上で、活用されるようお願い致します。  
したがって本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。